

■■メールマガジン「静岡県防災」第35号■■

～突風発生時の行動について～

7月4日の夕方、静岡県西部で※「ダウンバースト」か「ガストフロント」と見られる突風が発生し、トレーラーやクレーンが横転しビニールハウスが吹き飛ばす等の被害が発生しました。

そこで今回は、竜巻等の突風の際の行動について考えてみましょう。

○竜巻の発生が予測されたら

気象庁では、竜巻などによる激しい突風が予測される時には、「竜巻注意情報」を発表し注意を呼びかけています。

この情報は、テレビや「静岡県防災」などの防災アプリ等から収集することができます。

情報は発表から約1時間有効で、その後も注意が必要な場合は再度発表されます。

○竜巻が発生したらどう行動し、どう身を守れば良いの？

竜巻が発生した時には、建物などの被害は防げませんが、身の安全を守ることはできます。

屋外にいる場合は頑丈な建物などに避難し、屋内にいても窓ガラスには近づかず、丈夫な机の下などで身を小さくして頭を守ってください。

竜巻は短時間に猛スピードで様々なものを巻き上げながら、建物などに甚大な被害を与えます。

すぐに身を守るための行動をとってください。

※「ダウンバースト」 積乱雲から吹き下ろす下降気流が地表に衝突して、水平に吹き出す激しい空気の流れです。

吹き出しの広がりや数は数百mから十キロm程度で、被害地域は円形あるいは楕円形など面的に広がる特徴があります。

「ガストフロント」 積乱雲の下で形成された冷たい（重い）空気の塊が、その重みによってより温かい（軽い）空気の側に流れ出すことによって発生します。

水平の広がりや数は竜巻やダウンバーストより大きく、数十キロmに達することもあります。

参考：

首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/tatsumaki.html>

気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/ki-shou/known/toppuu/tornado1-1.html>